

## ～ 羽田空港国際線ターミナル／JAL 整備工場の見学 ～

相模原支部事務局

- 開催日 平成 30 年 6 月 26 日(火) 京急 仲木戸駅 9:20集合 (雨天決行)
- コース 羽田空港国際線ターミナル ～ JAL整備工場の見学
- 参加者 大井征治 太田一穂 河合昭平 木曾雄吉 駒村敏男 竹内真次 中村壽男  
橋本 勝 平野 猛 眞武順造 明星好光 村松茂男 平野靖和 13名

ちょうど梅雨の中休みということもあって朝から暑い日差しのなか「京急 仲木戸駅」に集合です。今回は社会見学の定番「JAL整備工場見学」ですが、1月末に予約をしておきました。穴森神社近くの、クロノゲート(クロネコヤマトの物流センター)も見学したい場所でしたが、予約の時間帯が合わずに、「羽田空港国際線ターミナル／JAL整備工場」に変更して行ってきました。

### 航空教室でビデオ視聴と展示コーナーを巡る

案内役は今村さん(下見の折に男性職員をお願いして)に引き受けていただくことに。知識豊富で何を聞いても的確に答えてもらえる方でした。飛行機の事を語ると何時間あっても時間が足りないとおっしゃるその笑顔からは、本当に「JALを愛し、仕事を愛しているんだな」と感じるものでした。航空教室でJAL社のこと、飛行機の性能などについてのビデオ視聴、待機時間内では展示エリアの見学もできます。JAL客室乗務員の歴代の制服や著名人の来日シーン、記念グッズの展示、コックピットの模擬シュミレーター体験、ファーストクラスの豪華なシートetcなど、貴重な展示品の数々が見られます。(約30分)

### 整備工場の感想

整備工場はM1ハンガーと呼ばれる格納庫(東京ドームの1.3倍、高さ41m、間口170m)とM2格納庫(間口200m)で構成されています。整備工場は365日24時間(3交代)稼働で安全運航を支えているそうです。M2格納庫は実際に整備をしているフロアに降りて見学することができます。庫内では3機同時に整備作業ができるそうですが、間近で見る機体・翼・エンジン・タイヤの大きさには圧倒されます。さらに、格納庫ギリギリのところまで出て、目の前に広がる滑走路を見ることもできます。次々に離着陸する飛行機の音を体中で感じる事ができました。建物に遮られることなく、スウーッと雲の向こうへ消えてゆく飛行機を見学できるのも、JAL工場見学～SKY MUSEUM～ならではの思い出でした。(約1時間)

### JAL整備工場の豆知識

- ・ 飛行機の寿命は約40年であるが、JALでは20年で償却し他社(海外?)へ払い下げている。  
\* 主力機種である「ボーイングB777」は1機約300億円だそうです。
- ・ 初飛行から3カ月で10時間、1.5年で10日間、8年で40日間掛けて整備を実施している。機体の塗装は6～7年に一度ペンキ塗り替えをしているそうです。
- ・ ボーイングB777は国内500名、海外240名で運行しているが、海外は長距離運行のため燃料を多く積み込むため、その量はドラム缶900本、18万リットル、145トンになるそうです。
- ・ JALの整備士は総勢3000名(女性は200名)で、羽田は1200名(女性は80名)、他に成

田、関空、中国、シンガポールの各工場で働いています。

◇ 参加された方のコメント(メール文)を載せてみました。

お疲れさんでした。なかなか機会のない JAL の工場見学大変興味深く見学できました。旅行等で飛行機の利用機会の多い私には、安全性に大変な努力をしている姿に接し良い勉強になりました。案内役の方も親切丁寧でしたね。事前の下調べ等大変だったと思います。有難うございました。 大井さん

この度の JAL 整備工場見学は 80 歳を超えた者にとっても大変有意義でした。搭乗することはありませんが旅客機の構造、寿命、整備など殆ど知識がありませんでした。素晴らしい社会見学会を企画していただき有り難うございました。

午前中の国際線ターミナルの見学も自分の場合、利用時には殆ど素通りのため展望台や店に立ち寄ることはありません。ゆっくり見学が出来て本当に良かったと思っています。 明星さん

JAL 整備工場見学時の写真をお送り頂き有難うございました。 皆さん興味深く見学している表情が良く写し出されています。

ビクター時代、医療用内視鏡ビデオカメラの開発商品化をやっていた関係で、工業用内視鏡カメラの開発商品化も行い、JAL の整備工場に持って行き、ジェットエンジンのタービンブレードが、破損したり、ひび割れが入っていないか等の、検査用機器として利用してもらった事を思い出しながら、楽しく見学する事が出来ました。 河合さん

◇ 竹内真次さんにアルバム作成をしていただきました。見学の足跡が実によくまとまっています。







・道路を越えて次の現場へ移動 14.05 頃



・ヘルメット姿でグループ別の記念写真 <JVC寿会13名>



・1階の風景



・ヘルメットをかぶり1階へ降りる



・メンテ中の飛行機



・メンテする場所から外を覗いた景色





現役時代だけでなく退職後も利用している空港ですが、国際線ターミナルのデッキから眺める風景や安全・安心を支えている整備の現場の様子を目の当たりにして、それぞれに感激ひとしおだったようです。新整備場駅～天空橋～横浜に移動、いつものように希望者で懇親・打ち上げの宴を持ちました。参加された皆さんお疲れさまでした。

平野 記